

1年B組 音楽科学習指導案

授業者 泉山倫子

- 1 題材名 我が国とアジアの諸民族の音楽を聴き比べ、奏法や音色の違いによるよさやおもしろさを感じ取ろう。
- 2 本時のねらい アジアの諸民族の音楽（アルフー、カヤグム、ガムラン）を比較して聴き、楽器の音色を知覚・感受できる。
- 3 本時の流れ 本時2/3時

段階	学習内容	支援上の留意点	評価規準と評価方法
導入 10分	1 前時までの復習	・アジアの諸民族の音楽の特徴を捉えやすくさせるために、我が国や郷土の伝統音楽の特徴を思い出させる。	
展開 35分	2 課題の提示		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> アジアの諸民族の音楽の音色を聴き比べて、音楽の特徴を感じ取ろう </div>		
	3 各曲を聴き比べ、音楽の雰囲気や音色について聴き取ったことをメモする。 (個人)	・各曲を聴き比べ、奏法と楽器の形を想像させることで、音色に注目させる。	【鑑賞の能力】 アジアの諸民族の音楽を形づくっている音色を聴き比べながら知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 (ワークシート)
	4 書いた内容を交流し合う。 (グループ→全体)	・なぜそのように考えたのかを音色をキーワードにして考えを伝え合う。	
5 それぞれの曲の国名、奏法、楽器の特徴を知る。演奏している映像を見ながら、音色について加筆する。 (グループ)	・映像を見ながら、それぞれの楽器の奏法と音色の音楽的な特徴を感じ取る。(楽器の特徴、音楽の特徴、音楽を聴いて感じたこと)		
6 もう一度曲を聴き比べ、アジアの諸民族の音楽を聴いて感じたことをまとめる。 (個人)	・他の生徒の意見をきいた後、ワークシートに書いた文の言葉を変えたり加えたりすることでより深く知覚・感受させる。		
終結 5分	7 本時の振り返りと次時の予告		

4 指導にかかる思い

国や地域それぞれの音楽文化を多くの人々が大切に受け継いできたことから、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに、他国の音楽文化を尊重する態度を育てたい。